



(一財)土木研究センター
建設技術審査証明
(土木系材料・製品・技術、道路保全技術)
(建技審証第0221号)取得



コンクリート打継目処理剤

Disparlight®

(レイトンス処理剤)

ディスパライト CR/ER/DV/DV-S



レイタンス処理剤

均一で確実な打継目処理を約束する!!

Disparlight®

ディスパライト

ディスパライトは均一性に優れた高品質の打継面が、安全確実に得られるコンクリートの打継目処理剤です。

3大特徴

1. 均一性

均一でムラのない高品質の打継面が得られます。
●鉄筋周囲を含めて安定した処理効果が得られ、高圧水処理による表面洗い出しによりムラのない打継目が得られます。



※水が使用できない場合の処理方法
ジェットタガネ又はワイヤーブラシ等を用いて打継目処理を行って下さい。

2. 確実性

作業時期の時間制約が大幅に緩和され、効率的で確実な打継目処理作業が行えます。

3. 安全性

コンクリートや鉄筋への悪影響がありません。
●有害物質を含まないため、環境汚染の心配もありません。

ニーズに合わせた4タイプ

- 水平打継目処理用 **ディスパライト CR** (散布形 標準タイプ)
- 水平打継目処理用 **ディスパライト ER** (散布形 超遅延タイプ)
- 鉛直打継目処理用 **ディスパライト DV** (型枠用 塗布タイプ)
- 鉛直打継目処理用 **ディスパライト DV-S** (型枠用 速乾塗布タイプ)

効果



▲打設時



▲打継目処理



▲処理後

散布形 標準タイプ

Disparlight® CR



▲瀬戸大橋

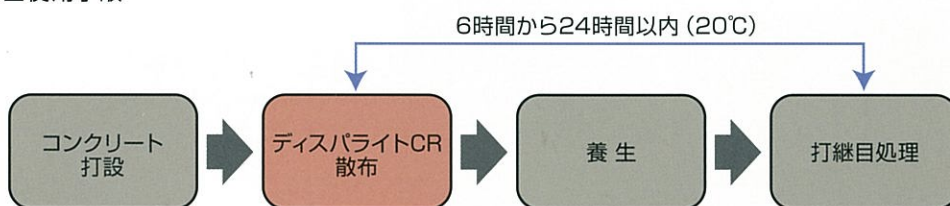


▲関越自動車道水上トンネル



▲倉敷(美観地区)
洗い出し美粧

■使用手順



ディスパライトCRは、一般コンクリートの水平打継目処理剤です。

コンクリート打設後ブリーディング水が引くころを目安（1時間程度）に原液を300g/m²（ジョウロ散布の場合は2倍希釈液を600g/m²）散布する事により、散布後6～24時間（20℃）以内の圧力水処理等により打継目処理が効果的・能率的に行えます。

■用途

●ダム、ケーソン、橋梁下部工、PCタンク、LNGタンク基礎、砂防堰堤、下水処理場、浄水場、地下鉄、発電所、共同構、骨材露出工法など。遊歩道、参道などの洗い出し美粧など。

■性能

比重	外見	pH	粘度(25℃)
1.06	淡褐色液体	8.0±1.0	1.0mpa·s
処理深さ	使用法	散布面	標準使用量※
2～3mm	ジョウロ又は噴霧器による散布	コンクリート面	300g/m ²

※使用量の算出例

例えば、セメント量400kg/m²では……
400×0.001=0.4kg→400g/m²

上記の様に使用量をご使用ください。

※また、特に夏場の直射日光が当たるような場所では、表面乾燥の関係からディスパライトERのご使用をおすすめします。（ただし、表面保護シートなどを使用する場合は、この限りではありません。）

■荷姿 / 18kg/缶

■施工例 (CR・ER)



▲ジョウロによる散布



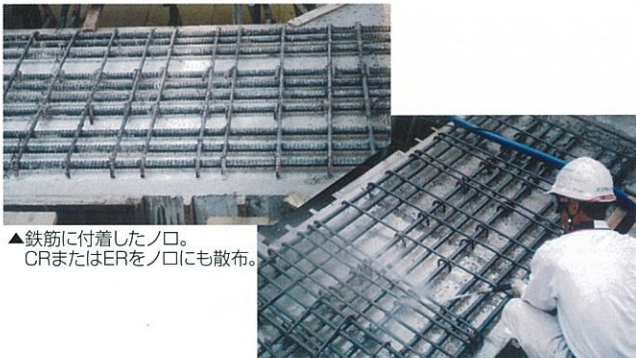
▲噴霧器による散布



▲圧力水処理

散布形 超遅延タイプ

Disparlight® ER



▲鉄筋に付着したノロ。
CRまたはERをノロにも散布。

▲翌日、高圧水洗浄でノロの除去が可能です。



▲明石大橋

■使用手順



ディスパライトER (散布形) は、CRの姉妹品として、改良された打継目処理剤です。

CRに比べ散布してから打継目の洗い出し処理までの時間が長くとれるとともに、洗い出し後の処理深さも深くなります。また、洗い出しまでの間、必要に応じ湛水養生が可能です。(ジョウロ散布の場合は2倍希釈液を600g/m²散布して下さい。)

■用途

- 重力式コンクリートダムやマスコン
- 長期遅延効果が必要なコンクリート構造物
- 散水・湛水養生が必要なコンクリート構造物

■性能

比重	外見	pH	粘度(25℃)
1.17	淡黄褐色液体	6.0±1.0	5.0mPa·s
処理深さ	使用法	散布面	標準使用量※
2~5mm	ジョウロ又は噴霧器による散布	コンクリート面	300g/m ²

■荷姿 / 18kg/缶

■散布型 (CR・ER) 使用上の注意

- ディスパライトの打継目洗い出し処理作業には、高圧水処理 (3MPa程度) 又はジェットタガネ等を用いて凝結が遅延している打継目薄層部を除去して下さい。
- コンクリート表面が斜めになるような型枠で、垂直に建て込まない場合は、型枠とコンクリートの界面にディスパライトが流れ込むおそれがありますので、型枠とコンクリートの接する面に、ウェス等で養生してから散布して下さい。
- ディスパライトは散布ムラのないように入念に散布して下さい。(散布量の不足や、ムラは打継目処理ムラを生じさせます。)
- ディスパライトは-5℃まで安定ですが、凍結しないよう保存して下さい。
- コンクリート打設後、3時間を超えてディスパライトを散布した場合、打継目の処理作業性は低下し、処理深さも浅くなる場合があります。

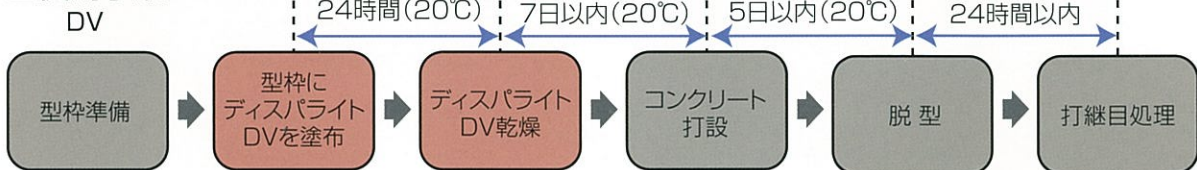
※使用方法及び性能等の詳細につきましては、別途「技術資料」をご参照願います。

型枠用 塗布タイプ

Disparlight® DV



■使用手順



ディスパライトDVは、コンクリートの鉛直打継用に開発した打継目処理剤です。

あらかじめ型枠に塗布、乾燥させ、コンクリートの打設養生後、脱型し打継目処理を行えば容易に均質な処理面が得られます。

■用途

●PC桁、高架橋、地下鉄、ダム、発電所、LNGタンク等コンクリート構造物。

建築外装、PC化粧板等の表面洗い出しなど。

■性能

比重	外見	pH	粘度(25°C)
1.17	淡黄色 グリース状	8.0±1.0	13,000± 2,000mPa·s
処理深さ	使用法	塗布面	標準使用量
2~3mm	ハケ又は ローラーで塗布	型枠面	350g/m ²

■荷姿/18kg/缶

■塗布用(DV)使用上の注意

- 塗布量は気温、セメント量、型枠材質等により多少増減することがあります。
- 打継目作業時期は温度に影響されますのでコンクリート打設後、打継目の洗い出し時間には充分注意して下さい。
- 脱型後、打継目の洗い出しは24時間以内に行ってください。
- 降雨等で型枠等に、塗布されたディスパライトが流出しないようシート等で覆うなど予防処置を行ってください。
- DVを塗布したあと塗膜は乾燥しますが、フレッシュコンクリートに接すると再び湿潤して効果を発揮します。
- 型枠に剥離剤が塗布されていると十分な効果が得られないので、必ずシンナーなどで拭き取ってください。
- ディスパライトDVは350g/m²を2回塗り以上で塗布して下さい。
- コンクリート打設の際に鉛直でない型枠(斜め等)ですと十分な処理面が得られない事がありますので、事前に試験を行い、効果を確かめた上でご使用願います。

型枠用 速乾塗布タイプ

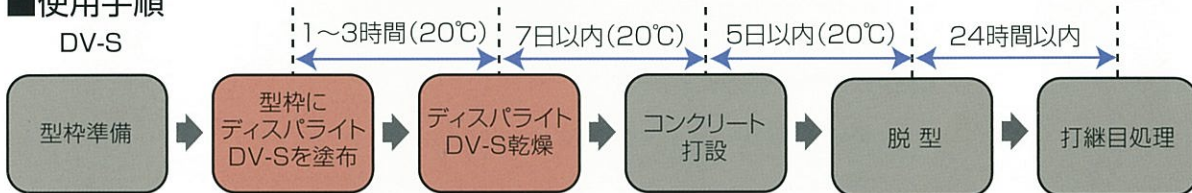
DV-Sは特注品につき納期は10日間程度必要になります。

Disparlight® DV-S



■使用手順

DV-S



ディスパライトDV-Sは、コンクリートの鉛直打継用に開発した打継目処理剤です。あらかじめ型枠に塗布、乾燥させ、コンクリートの打設養生後、脱型し打継目処理を行えば容易に均質な処理面が得られます。

・特にディスパライトDV-Sは乾燥時間が短縮され、塗布量も少量で処理可能になります。

■用途

●PC桁、高架橋、地下鉄、ダム、発電所、LNGタンク等コンクリート構造物。
建築外装、PC化粧板等の表面洗い出しなど。

■性能

比重	外見	pH	粘度(25℃)
1.13	白濁粘調液体	7.0±1.0	13,000±4,000mPa·s
処理深さ	使用法	塗布面	標準使用量
2~5mm	ハケ又はローラーで塗布	型枠面	200g/m ²

■荷姿 / 18kg / 缶

■塗布用(DV-S)使用上の注意

- 塗布量は気温、セメント量、型枠材質等により多少増減することがあります。
- 打継目作業時期は温度に影響されますのでコンクリート打設後、打継目の洗い出し時間には充分注意してください。
- 脱型後、打継目の洗い出しは24時間以内に行ってください。
- コンクリート打設の際に鉛直でない型枠(斜め等)ですと十分な処理面が得られない事がありますので、事前に試験を行い、効果を確認の上でご使用願います。
- 降雨等で型枠等に、塗布されたディスパライトが流出しないようシート等で覆うなど予防処置を行ってください。
- 型枠に剥離剤が塗布されていると十分な効果が得られないので、必ずシンナーなどで拭き取ってください。
- ディスパライトDV-Sは規定量を1回で塗布して下さい。(塗りすぎに注意して下さい。)



建設技術審査証明書

建技審証第0221号

技術名称 コンクリート打継目処理剤
「ディスパライト」

(開発の趣旨)

コンクリートの打継目処理において、通常の場合と同等の打継目性能を確保しながら、処理作業時期を大幅に延長できるコンクリート打継目処理剤「ディスパライト」を提供する。

(開発目標)

- (1) 水平打継目処理剤ディスパライトCRおよびERをコンクリート表面にそれぞれ300g/m²散布した場合、打継目処理作業時期をコンクリート打込み後、ディスパライトCRで1日程度、ERで最大3日間程度まで延長できること。
- (2) 鉛直打継目処理剤ディスパライトDVを型わく面に350g/m²塗布し乾燥後、コンクリートを打ち込んだ場合、打継目処理作業時期をコンクリート打込み後、最大5日間程度まで延長できること。
- (3) 「ディスパライト」を用いた打継目処理作業には、ジェットタガネ等を使用したチッピング処理、および圧力水による処理がいずれも適用できること。
- (4) 「ディスパライト」を用いて処理したコンクリートの打継目の引張強度は、通常のチッピング処理のみを施した場合と同程度であること。

一般財団法人土木研究センターの建設技術審査証明事業実施要領に基づき、依頼のあった標記の技術について下記のとおり証明する。

平成15年3月5日

平成20年3月5日 更新

平成25年3月5日 更新

建設技術審査証明事業実施機関

一般財団法人 土木研究センター

理事長



記

1. 審査証明の結果

上記の開発の趣旨、開発目標に照らして審査した結果、コンクリート打継目処理剤「ディスパライト」は以下の性能を有すると認められる。

- (1) 水平打継目処理剤ディスパライトCRおよびERをコンクリート表面にそれぞれ300g/m²散布した場合、打継目処理作業時期をコンクリート打込み後、ディスパライトCRで1日程度、ERで最大3日間程度まで延長できる。
- (2) 鉛直打継目処理剤ディスパライトDVを型わく面に350g/m²塗布し乾燥後、コンクリートを打ち込んだ場合、打継目処理作業時期をコンクリート打込み後、最大5日間程度まで延長できる。
- (3) 「ディスパライト」を用いた打継目処理作業には、ジェットタガネ等を使用したチッピング処理、および圧力水による処理がいずれも適用できる。
- (4) 「ディスパライト」を用いて処理したコンクリートの打継目の引張強度は、通常のチッピング処理のみを施した場合と同程度である。

2. 審査証明の前提

- (1) 本審査証明は、依頼者からの試験データ等の資料を基に審査し、確認したものである。
- (2) 「ディスパライト」の製造・保管は、適切な品質管理のもとに行われるものとする。
- (3) 「ディスパライト」を用いたコンクリートの打継目処理は、コンクリート打継目処理剤「ディスパライト」使用マニュアルに記載されている適切な施工管理のもとに行われるものとする。

3. 審査証明の範囲

一般の鉄筋コンクリートおよびプレストレストコンクリートにおける、水平ならびに鉛直打継目処理に用いる範囲とする。

4. 審査証明の詳細

建設技術審査証明報告書

5. 審査証明の有効期限

平成30年3月4日

6. 審査証明の依頼者

日本ジッコウ株式会社

所在地：兵庫県神戸市西区南別府1丁目14番6号

共栄社化学株式会社

所在地：大阪府大阪市中央区南本町2丁目6番12号

総発売元



本社 / 〒651-2116 神戸市西区南別府1丁目14番6号
☎(078) 974-1141(代) FAX (078) 974-7786

技術研究所 / 〒673-0028 兵庫県明石市碓町3丁目4番7号
☎(078) 920-1115(代) FAX (078) 920-1116

東京支店 / 〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目3番6号
☎(03)5628-2375(代) FAX (03)3636-4475

東北営業所 / 〒984-0816 仙台市若林区河原町1丁目3-22 107
☎(022)796-5312(代) FAX (022)796-5313

中部営業所 / 〒451-0051 名古屋市西区則武新町4丁目3-12 NRSさくまビル2F
☎(052)433-1350(代) FAX (052)433-1351

中国営業所 / 〒731-0122 広島市安佐南区中筋3丁目27番26号
☎(082) 831-7505(代) FAX (082) 831-7506

四国営業所 / 〒790-0038 松山市和泉北1丁目1番3号
☎(089) 941-3699(代) FAX (089) 941-3938

九州営業所 / 〒815-0031 福岡市南区清水4丁目7番29号
☎(092) 512-2248(代) FAX (092) 541-6331

大阪営業所 / 〒532-0011 大阪市淀川区西中島7丁目1番29号
☎(06)6304-6355(代) FAX (06)6304-6388

製造元



SUNHIT 株式会社サンヒット商会

東京都豊島区西巣鴨 1 - 15 - 1

TEL 03-3915-0706 FAX 03-3915-0728

商品ページは[こちら](#) 当社HPは[こちら](#)